

## 支部協だより

第85号

発行所  
 NTT労組退職者の会  
 沖縄県支部協議会  
 沖縄県浦添市城間4-35-2  
 ☎098-870-7101  
 Fax.098-875-7450  
 責任者  
 黒島善市

## 菅内閣総理大臣へ強く訴える



会長 黒島善市

第8回幹事会は、菅内閣の発足宣言「辺野古合意を継続する」や100%官僚依存の北澤防衛大臣・岡田外務大臣の再任を受けて、退職者の会中央協議会として、「民主党に 対して行動を起こすよう」訴えることになりました。来る6月14日から15日にかけて開催される全国の支部協議会・会長会議で黒島会長が読み上げて提案します。以下その要請文書を掲載します。

六月八日午後五時過ぎ、菅首相は内閣の顔ぶれを発表、記者会見を行なった。普天間問題で記者質問が五時二十分頃から十五分間ほどあった。

その間、我が家では普天間飛行場でのタッチ・アンド・ゴーの訓練と、ヘリに

よる独特のバタバタ音も加わり、テレビの音もかき消されイライラすることこの上なし。そして、「日米合意に基づき進めなければいけないが、沖縄の負担軽減も全力を挙げて取り組む」とのこと。がっかりして又イライラが募る。

地元や市そして県の考え方や意見もまったく無視しての頭越しの決定だ。国と国との合意だから、前自民党政権のものでも守るとい

う。自国民を裏切り犠牲にしても、米国の圧力に屈し、約束は守るといふ政府とは。昨年の総選挙は何だったのか。今年一月の名護市長選挙でも民主党も推薦した稲嶺市長は、選挙公約を守り「海にも陸にも新基地は造らせません」ときっぱり言い切っている。

歴史を少し紐解いてみた

事故も基地に逃げ込みそのまま米国へ逃亡。このようなことに、県民は幾度となく抗議してきた。すると、六三年、時のキャラウェイ高等弁務官は「自治権神話」演説をおこない、琉球政府に圧力をかけ県民からは猛反発を受けた。

そして、七〇年十二月米兵の主婦殺害事件の無罪判決があり、二十日夜、米軍属の交通事故によるMPの事故処理に不満が爆発し、米軍人・軍属の車両約七〇台が焼き討ちになるという、いわゆるコザ反米暴動が発生した。このようなこともあり米軍による沖縄の統治が困難となり、復帰が早まったとも言われている。

ところで、先月五月二七日全国知事会が開催され、沖縄の基地負担軽減が話し合われた。しかし、大阪府の橋下知事のみ訓練受け入れを表明したが、その他の知事は全て反対だ。千葉県の森田知事にいたっては「全国に火の粉を分散するの

で反対だ」と言っていた。逆に言えば危険な基地は、そのまま沖縄に置いておけ

ということだ。憤りを通り越して悲しくさえなる。何度でも訴えます。国土の約〇・六%に過ぎない沖縄県に、今なお全国にある

米軍専用施設の七四・二%が集中している。このようなことは正常でしょうか。そして、このような正常でない異常な状態が半世紀以上も続いていることに全国の皆さんはどう感じているのでしょうか。心は痛まないのでしょ

うか。長い間苦勞様でした。これからは、私たちが引き受けましょう。でなければ、一緒になつて国外へ撤去させましょう。と、なぜ言えないのでしょうか。そして、行動できないのでしょ

うか。人口の約1%だから無視しますか。ところで、鳩山前総理ご苦勞様でした。歴代の総理の中で初めて、普天間を取り上げ「国外へ、最低でも県外へ」と話され、私たちに明るさ、希望を与えてくれた。連日マスコミにも取り上げられ国民も注目するようになった。また、政権交代により、密約問題、事業仕分けその他、自民党時代の無駄、闇の部分からさまざまになりつつあり喜び、感謝します。

でも、カネと普天間で総辞職した。カネについては、鳩山、小澤の辞任でとりあえずケリがついたようだが、普天間は残ったままだ。なぜ残したままなのか。理の

通らない話だ。それとも、全国知事会の様子を見て、理も非もなく通そうということか。

しかし、私たち沖縄県民にとって、米軍基地に関わる問題は、私たちの生活そのものです。脱官僚とい

ながら、官僚に利用・洗脳されたとしかみえず、官僚をうまく活用することは出来なかつたと思えてならない。岡田外務大臣は辺野古が駄目なら普天間飛行場は残ると恫喝する始末だ。普天間が極めて危険だから、その除去に辺野古があるのに本末転倒だ。〇三年十一月ラムズフェルド米國務長官が普天間を視察して「世界一危険な飛行場だ」と早期移設を指示している。その翌年八月、沖縄国際大学に大型ヘリが墜落した。

今からでも遅くはありません。米国と再度交渉して下さい。昨年の総選挙前と現在では状況はまったく違います。経済界を含め、ほぼ全ての県民が新基地建設には反対です。このままでは、米国との関係も悪化、日米安保体制そのものも揺らぎかねません。第2のコザ暴動に駆り立てる心境になりつつあります。米国も基地建設は地域の



# 沖縄ピースすてーじ 歩こう嘉手納基地・戦跡

日米共同声明で、頭がカッカと燃え上がった会員が大多数ではなかったでしょうか。現役の沖縄総支部労組・情報労連は、『2010沖縄ピースすてーじ』行動スケジュールを計画しています。行動には、全国から退職者の会会員も12名が参加します。沖縄の会員の皆様も下記の行動に参加しませんか？

## 一、嘉手納基地・周回行動

6月24日(木) 8時 沖縄都ホテルを出発する嘉手納基地周回行動が開始されます。出発地点  
都ホテル→バス嘉手納町兼久海浜公園→沖縄市八重島公園(昼食)〔退職者の会員はここで終了〕→運動公園(終点)；約18kmを歩きます。

## 二、戦跡・基地学習行動

6月25日(金) 8時 都ホテル出発する。  
都ホテル出発後、バスは次の各地をめぐる。  
①平和祈念資料館 ②平和の礎 ③ひめゆり平和祈念資料館 ④系数壕(アブチラガマ) ⑤嘉数高台(京都の塔) ⑥安保の見える丘(嘉手納飛行場) ⑦チビチリガマ ⑧魂魂の塔(バスにより行き先が異なります。)

\*参加希望者は、弁当・飲み水準備がありますので、至急黒島会長又は長嶺まで連絡してください。

# 石橋みちひろ

## ご支援お願いします。

～つながって、  
させえあう社会へ。～



首相の決定待ちとのことでした。感じたのは当事者でない者はあまり関心がないのかなと思いました。交流会では一日目、二日目と自作の笛で沖縄をアピールして来ました。全国の仲間との交流会、大変勉強になりました。

## 第九回NTT労組退職者の会北部地区協働グラウンド・ゴルフ大会報告

北部地区協議会

会長 与那覇誠勝

前日までは雨で、大会も危ぶまれていましたが、会員の心がけが良かったせい

か晴天の下で会員二十名家族六名が集まり、春風をうけながら会話をはずませ楽しくプレーを行うことが出来ました。会長からは「毎年呼んで下さって有り難うございました。支部としても皆さんと共に楽しく過ごせるように支援していきま

すので、宜しく」との激励の挨拶がありました。本場に有り難うございました。今回は現役の皆さんも呼びかけましたが、あいにくシーミー祭やら県民大会前と重なり集まりが良くなかった。しかし、少ない中でも珍プレー、好プレーがあり、特にホールインワンが出たときは各チーム毎に歓声が

あがり楽しみました。成績は男子優勝宮城理文さん、二位県支部会長の黒島善市さん、三位津波松博さん、女子優勝比嘉千代子さん、二位宮城悦子さん、

三位金城光子さん。宮城夫妻と県会長黒島さんは、昨年に続き賞品獲得されたことを参加者全員で祝福しました。本当におめでとうございませう。

賞品は一位、三位まではお米、その他は幹事の皆さんが引き出物を出し合い、開けてビックリと言わず楽しみに開けて下さいと差し上げました。

表彰式に続き懇親会に入り、パーベキューとビールを飲みながら久しぶりに会友仲間と話を交わし、時間のたつのも忘れ、参加者全員で次回を期待しながら終了しました。



### \*新会員を御紹介します

(敬称略)

- 当真八重子(宜野湾市)
- 末古 文英(浦添市)
- 下地 寛(沖縄市)
- 山里 景貞(宮古島市)
- 宮里 政議(那覇市)
- 玉城 正市(石垣市)
- 上間スエ子(恩納村)
- 新垣 善保(宜野湾市)
- 宮城 政夫(浦添市)
- 多和田眞栄(宜野湾市)